

**JET** INQUE

# WIRELESS WIDE VIEW BACK CAMERA WIRELESS 7INCH LED MONITOR

GX-004 コードNO.592834

## 取扱説明書



JAPAN MIC 認証取得

認証番号 011-160062



- 本製品をご使用になる前に必ず本説明書をお読みください。

## 目次

目次	1
ご使用になる前に	1
安全上の注意・警告	1~2
商品構成一覧	2
スタンドを設置するまえに / スタンドの取付け	3
モニターのカابل接続方法	4
カメラの取付接続方法	4~5
カメラのお手入れ/ベアリング方法について	5
本体/リモコンの操作方法	6
モニター画面の調整/設定	7
故障かなと思ったら	8
製品仕様	9
法規の改正	10
保証書	11

## 本製品をご使用になる前に必ず本説明書をお読みください。

安全のために必ずお守りください。

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに記載した事項は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方が何時でも見られる所に保管ください。

<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いを行うと死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いを行うと損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を表示しています。

## 安全上の警告・注意

### 警告

- 万一異常が発生したら、車両のメインスイッチを切ってください。映像が出ない、煙、異臭、異音など、異常な状態のまま使わないでください。火災の原因になる場合があります。  
この様な時はすぐに車両の運行を停止して電装品の電源を遮断し販売店にご相談ください。
- 運転手の視界を妨げる場所には、絶対に取付けしないでください。交通事故の原因になります。
- 運転操作（ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどの操作）を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けや配線をしないでください。
- エアバックが装着されている車両に取り付ける場合は、作動時の妨げになるような場所には取り付けや配線をしないでください。
- 運転中にはモニター操作・画面の注視をしないでください。操作は必ず停止中に行ってください。
- 故障や異常のままに使用しないでください。異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
- 分解や改造はしないでください。内部には電圧の高い部分があり、発火・感電の原因となる場合があります。

### 注意

- ケーブルを傷つけない、ケーブルは紫外線が直接あたる場所に配線しないでください。被覆が硬化してこわれやすくなります。またケーブル自体にテンションをあたえたり、熱い所に近づけるとケーブルが破損します。
- 凍結防止剤または海水付着後は洗浄を行ってください。付着したままにして置くと、カメラが腐食しやすくなり、内部に水が入り故障する場合があります。
- カメラのレンズ部のお手入れをお願いします。レンズユニットに汚れやほこりが付着すると曇ったように見にくくなります。汚れる前に定期的なお手入れをお願いします。

## 安全上の警告・注意

### 注意

- 不安定な場所には取付や配線はしないでください。落ちたり、傾いたりして怪我や事故の原因になります。
- モニター取付スタンドの取付けは、安全のためにしっかり固定できる水平な場所へ貼り付けてください。ダッシュボードの材質や形状など取付出来ない場合もあります。
- ダッシュボードの素材が樹脂製ではない場合は取付した場合、表面を痛める場合があります。
- 本製品の動作温度範囲は製品仕様書P9に記載の通りになりますので超えた温度状況でのご使用は控えてください。
- カメラを取り付ける場合は、車幅からはみ出さない場所、また車の前後からはみ出さない場所に設置ください。
- 強い衝撃を与えないでください。落下させたり、強くたたいたりすると故障の原因になります。
- 大きい温度差がある場所は避けてください。モニター内部が結露して故障の原因となります。
- ほこりまたは高い湿気を避けてください。
- モニターは直射日光・温風・冷風が直接あたる場所・マイナス温度になる環境下での使用は避けてください。
- DC12V~24Vのマイナスアース車専用です。
- 車体に穴を空けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用してください。コード類の摩擦によりショートし、本体の故障や火災の原因となります。
- 車体に穴を開けてコード配線を行う場合は、雨水が侵入しないようシリコン接着剤などで密封してください。
- 必ず付属部品を指定通りに使用してください。誤った使用は本機の脱落や故障などの原因につながります。

## 商品構成一覧

- **モニター(電源・外部入力付き).....1個**  
(モニター側ケーブル長さ3m)



- **リモコン(電池付き).....1個**  
(電池品番CR2025)



- **スタンド.....1個**  
スタンド固定用タッピングネジ 黒...M4 x 15mm



- **バックカメラ.....1個**  
(IR・マイク付き/ブラケット含め)



カメラ側ケーブル  
長さ3m

※ケーブルグロメットサイズ  
外径18mm  
内径13mm

- **ブラケット固定ネジ**



カメラ固定用ネジM4×8(3個)

ブラケット固定用  
+ボルト  
M4×30(3個)

ブラケット固定用  
タッピングネジ  
M4×19(3個)

- **カメラ電源延長ケーブル6m**



- **取扱説明書**

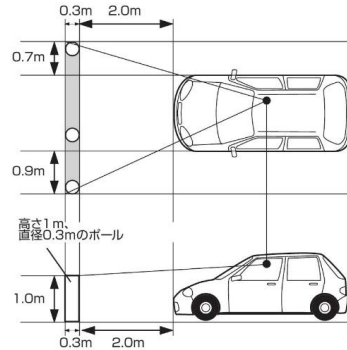


## スタンドの設置するまえに

付属のモニタースタンドは上下に設置できるタイプのモニタースタンドです。  
設置場所を定め、その位置が運転時の視界の邪魔にならない位置であるかご確認ください。

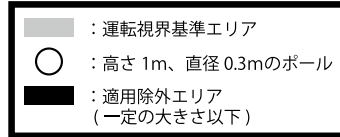
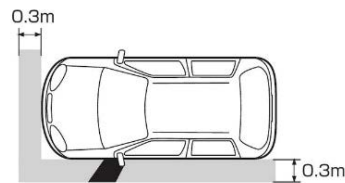
### 前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のボールが直接確認できるように取り付けてください。



※上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

### 直前側方視界に関して



## スタンドの取付け

① モニターを固定するダブルネジを緩めてモニターを固定してください。

② 取り付ける位置を仮決めてください。

吸着面のフィルムを剥がさずに、設置したい面に  
当て本体を取り付ける位置を決めてください。  
固定する面の油分や汚れを除去ください。

③ 取り付ける場所に吸着面のフィルムを剥がして強く押しつけて下さい。

両面テープの特性として接着力が安定するのに24時間かかります。  
接着力が安定するまで大きな負荷をかけないでください。  
天吊りをする場合は落下防止のため、付属のビスとの併用で固定ください。

⚠ 警告：エアバック装着車に取付る場合はエアバックのカバー部分および作動時の妨げにならない場所に設置ください。

⚠ 注意：取付けたあとは、モニター取付スタンドを引っ張って、接着面が確実に固定されていることを確認ください。

④ モニターの底面がダッシュボードに当たるように調整してください。

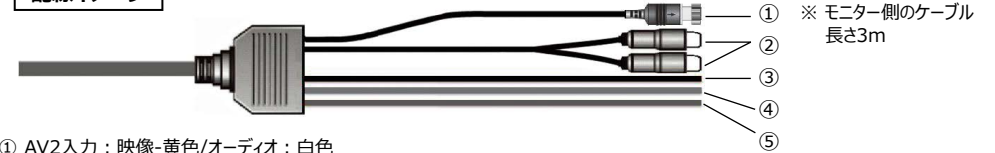
⚠ 注意：モニター底面がダッシュボードに当たっていないと接着面に負荷がかかり落下する場合があります。

⑤ 最後に横の角度調整レバーを使って見やすい角度に設置ください。



## モニターケーブルの接続方法

### 配線イメージ



- ① AV2入力：映像-黄色/オーディオ：白色
- ② 赤色ケーブル：DC+12V~24V ※ヒューズボックス30mm3Aヒューズ
- ③ 黒色ケーブル：GROUND(アース)
- ④ オレンジ色ケーブル：AV1有線(REAR VIEW=ON)  
※ オレンジ線に信号が入るとREAR VIEW(AV1)に画面が切り替えとなります。  
バックしたときに自動切換えさせたい場合はオレンジ線をバック信号につなぎます。  
またオレンジ線に信号が入るとカメラ側のマイクがONになります。
- ⑤ 青色ケーブル：AV2有線(SIDE VIEW=ON)  
※ 青色線に信号が入るとSIDE VIEW(AV2)に画面が切り替えとなります。  
方向指示した時に自動切換えさせたい場合は青線を方向指示(ウィンカーL/R)信号につなぎます。

## カメラの取付接続方法

### 1. カメラの取付位置を決め、カメラを取付ける。

#### 取付時の注意事項

- ・カメラ本体設置用の付属ネジは長さ種類の異なるネジを2種類用意しておりますが設置個所の強度によってネジが使えない場合があります。  
その場合は状況に応じて市販のボルトとナット・ワッシャーをご用意適切な設置を行ってください。
- ・カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引っ張ったりすることは、絶対にしないでください。
- ・泥はねや排気ガス等で表面ガラス部が汚れやすいところへの取付は避けてください。
- ① 車体側にカメラ固定用ブラケット取付穴2箇所(4箇所まで可能)、及びケーブル通し穴を加工します。  
付属のグロメットを使用する場合は13mmの穴を空けてください。
- ② 取付金具を付属のネジもしくは市販品のネジで本体側にしっかりと固定します。  
取り付け金具(ブラケット)には上下があります。右側写真の様に上を上に設置ください。  
・大型車両の箱は鉄板が厚くタッピングネジで固定が出来ない場合があります。  
その場合は市販のボルトとナットをご用意ください。
- ③ カメラ本体を付属の座金組込ネジを使用し仮止めをします。
- ④ 「配線イメージ」をご覧になり配線を行います。
- ⑤ 配線終了後、リアバンパーまたは車両後端がモニター画面に映るように、カメラの取付角度を調整します。
- ⑥ カメラ取付角度調整後、仮止めたネジをしっかり締めつけてカメラ本体を固定します。
- ⑦ 車体に加工した取付穴、ネジ部及びケーブル通し穴は、必ずシーリング材(シーラント材など)で防水処理・防錆処理をおこなってください。



### 2. カメラユニットに配線接続をする。

- ・カメラユニット本体と付属ケーブルを接続して電源の接続をします。※注意：極性を逆に入ると破損の原因になります。  
バック時のみ映像を映す場合はプラス側配線(赤)をリバース電源に繋いでください。  
走行時も映す場合は通常電源(ACC/バックアップ)に繋いでください。
- ・DC12~24VとGROUNDを連結して通電後、モニターのAV1入力画面からカメラ映像を確認します。
- ・ベアリング線は通常使用時には繋がらないでください。出荷時にはモニターとカメラはベアリング済です。
- ・モニター(受信機)とカメラ(送信機)複数あって個別にベアリングを変更する場合はP5のベアリング方法を参照ください。

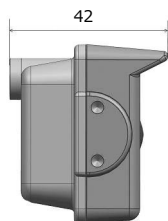
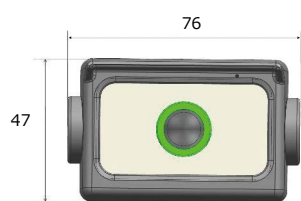
### 配線イメージ



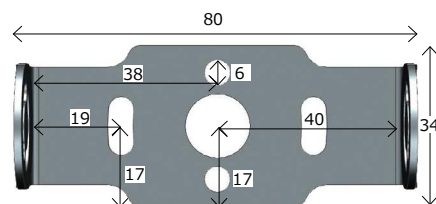
### 3. カメラの角度調整を行う

- ・箱車でカメラを上部中央に設置した場合、モニターに映し出されるバック画像を確認し、モニター下部に有る横車線(赤)を車両のバーやバンパー等に合わせてください。

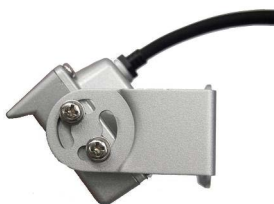
・カメラ本体寸法(mm)



・カメラ設置ブラケット寸法(mm)



・設置例 1)



・設置例 2)



#### 注意

強度が不十分な場合は脱落する恐れがありますので補強をしっかりと行ってください。

### カメラのお手入れについて

- ・ベンジンやシンナー類、アルコール類は使用しないでください。
- ・コンパウンドが含まれた洗剤などで拭かないでください。傷が付き錆びる原因となります。
- ・レンズ部やまわりを乾いた布で拭くと傷の原因となりますので、汚れた場合は水を含ませたやわらかい布で軽く拭いてください。

### モニターとカメラのペアリング方法

- ① モニターとカメラの電源を入れる。  
※ この時にカメラ(送信機)のコードにあるグレー色のペアリング線は繋がらないでください。  
※ 4P下部の記載のカメラ配線図参照
- ② 電源が入ってからカメラ(送信機)のコードにあるグレー配線をアースに繋ぐ。
- ③ リモコンのMUTEボタンをモニター受信部に向けて長押しするとモニター画面がPAIRING STARTの表示に変わりカウントダウンを始めます。ペアリングが成功すると画面にSAVE DATAと1秒間表示されカメラ映像に切り替わります。モニターとカメラの電源を落としてからグレー線(ペアリング線)のアースを外してください。

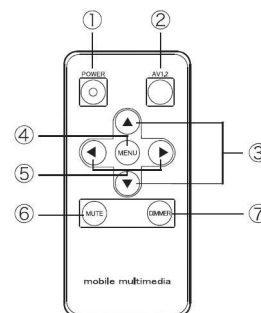
### 本体/リモコンの操作方法

#### モニター



- ① リモコンセンサー：リモコンの信号受光部
- ② MENU
- ③ ▶
- ④ ◀
- ⑤ SEL (▲▼)上下の移動及び設定
- ⑥ 電源・外部入力
  - 1秒以上長く押すと電源ON/OFF
  - 短く押すと入力切替

#### リモコン



- ① POWERボタン：電源ON/OFF
- ② AV1.2：ビデオ入力切替ボタン  
切替ボタンを押すたびにAV1とAV2が切り替えます。
- ③ UP-DOWNボタン：メニューリストから上下移動
- ④ MENU：メニューに移動します。
- ⑤ ◀▶：画面設定・機能設定をするためのボタン
- ⑥ MUTE：早押しはMUTE  
長押しはカメラとのペアリング
- ⑦ DIMMER：手動で画面の明るさを調整します。(5段階)

## モニター画面の調整・設定

### 画面調整

PICTURE	
BRIGHT(画面明るさ)	50
CONTRAST(画面明暗)	50
COLOR(画面色調)	50
TINT(画面色の濃度)	50
SHARPNESS(鮮明度)	50
SEL▼▲ ADJ◀▶	

- ① メニューボタンを1回押してPICTURE画面を出します。  
(リモコンの場合もMENUボタン)
  - ② SELボタンで各項目を選択します。  
(リモコンの場合は▲▼ボタン)
  - ③ ◀▶ボタンでお好みのレベルを選択します。  
(リモコンの場合も◀▶ボタン)
- ※ メニュー画面は自動的に約10秒後消えます。  
またはMENUボタンを押しますとメニュー画面が消えます。

### 画面設定-FUNCTION

FUNCTION	
REAR VIEW	ON/OFF
SCREEN(画面選択)	WIDE-NORMAL
BLUE BACK(画面背景を青色に設定)	ON-OFF
FMTX(88.3~90.0MHz)	
SEL▼▲ ADJ◀▶	

- ① MENUボタンを2回押してFUNCTION画面を出します。(リモコンの場合もMENUボタン)
- ② SELボタンで各項目を選択します。  
(リモコンの場合は▲▼ボタン)
- ③ ◀▶ボタンでお好みのレベルを選択します。  
(リモコンの場合も◀▶ボタン)

- ④ REAR VIEWをONにするとREAR VIEW(オレンジ色ケーブル)信号入力時AV1優先動作になります。  
SIDE VIEW(青色)信号入力時にはAV2優先動作になります。同時入力時にはREAR VIEW優先になります。
- ⑤ FMTX (FMトランスミッター) は車のFMラジオを経由して車両スピーカーから音を出す機能です。  
出荷時はOFF設定になっておりますので使用する場合はFMラジオの周波帯で使用されていないバンドを選んでください。  
内蔵トランスミッターの周波帯は88.3MHzから90MHzまでです。  
調整は0.1MHz単位で調整できますので各地方局のFMラジオに重ならない周波帯で使用ください。
- ⑥ MENU画面は自動的に約10秒後消えます。  
またはMENUボタンを再度押しますとMENU画面が消えます。

## 故障かなと思ったら

操作できない・電源が入らない

- ・電源コードが外れていませんか？  
⇒ 電源コードを確認してください。
- ・ヒューズが切れていませんか？  
⇒ ヒューズをチェックしてください。
- ・アースがきちんととれていますか？  
⇒ ボディーアースのチェックをしてください。

音声・音が出ない

- ・配線が確実にされていますか？  
⇒ 配線を再度確認してください。
- ・入力切替を間違えていませんか？  
⇒ 正しい入力モードに切り替えてください。
- ・音量を最小にしていますか？  
⇒ 音量を再度確認してください。
- ・MUTEにしたままになっていませんか？  
⇒ MUTEを解除してください。

映像が出ない

画面が暗い

- ・電源が入っていますか？  
⇒ 電源を入れてください。
- ・他のAV機器との接続を間違えていませんか？  
⇒ 接続を確認してください。
- ・走行中に一時的に映像が切れていませんか？  
⇒ 映像の無線送信は周辺環境の影響で走行中に映像が切れる場合があります。

リモコン操作が出来ない

- ・電池の入れ方を間違えていませんか？  
⇒ 電池の+-の向きを確認してください。
- ・電池が消耗していませんか？  
⇒ 新しい電池と交換してください。
- ・送信距離が遠すぎませんか？  
⇒ 本体と2m以内の範囲で操作してください。
- ・リモコンと本体の信号受光部に障害物はありませんか？  
⇒ リモコンと本体の信号受光部に障害物がないか確認してください。

## 製品仕様

### 無線タイプ 超広角カメラ

モデル品番	GX- 008 (CAMERA) 送信機
イメージセンサー	1/3" CMOS Image sensor
シグナルシステム	NTSC
画角	水平(140° ~ 150°)
	垂直(110° ~ 120°)
画素数	720(H)×480(V)
ビデオアウト	コンポジット(1Vp-p,75ohm)
オーディオ	内蔵マイク(-40±3db)
安定送信可能距離	>> 50Meter
周波数	2400 ~ 2483 Mhz
変調	BPSK / QPSK /16QAM
動作電圧	DC 12V ~ 24V
最大消費電力	340mA,12V / 170mA,24V(IR動作時 240mA,12V/130mA,24V(IR未動作時)
動作温度	-20°~60°
重量	約210g (Body)
外形寸法	76 (W) X 47(H) X 42(D) (Body)
その他	赤外線ランプ(IR) * 8時)
防水規格	IP6/7

### 無線タイプ ファインテッドモニター

モデル品番	WDMK-007GXM (RX_MONITOR) 受信機
ディスプレイサイズ	7インチLCD Back light 800X480 WVGA
ビデオタイプ	NTSC/PAL
輝度	400 cd/m <sup>2</sup>
外部入力	AV2 (CVBS + MONO)
オーディオ出力	内蔵スピーカー
受信タイプ	映像/音声
周波数	2400 ~ 2483 Mhz
変調	BPSK / QPSK /16QAM
動作電圧	DC 10V ~ 24V
最大消費電力	600mA,12V/300mA,24V
動作温度	0°~60°
重量	約300g
外形寸法	184(W) X 109(H) x 16.5(D)
FMトランスミッター	FM-TX(88.3~90.0Mhz)

## 法規の改正

2009年1月1日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準(※)」に準拠した取付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますのでご注意ください。

「外装の技術基準(※)」[抜粋]

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向または硬さを有するいかなる突起を有してはならない。

適応外となる部位

- ・高さ2m以上の部分
- ・フロアラインより下の部分
- ・直径100mmの球体が接触しない部分
- ・曲率半径が2.5mm以上となっている部分
- ・突出量が5mm未満で突起の外向き端部に丸みが付いている部分
- ・突出量が1.5mm未満の部分
- ・突起の硬さが60シヨア(A)相当以下となっている部分

対象車種

- ・2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。  
(乗車定員10人未満の、専ら乗用の用に供する自動車)

尚、2008年12月31日までに製作登録された車両につきましては対象外となりますが、新基準に準拠した取付けをおすすめします。

法規の詳細は国土交通省のホームページにてご確認ください。

- ・国土交通省ホームページ  
<http://www.mlit.go.jp/index.html>

- ・保安基準等関係基準の各条文検索一覧表【保安基準(自動車)】  
[http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou\\_index.pdf](http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou_index.pdf)

- ・第18条細目告示別添20外装の技術基準  
[http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet\\_020\\_00.pdf](http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf)